

## 新たな不登校が生じない取組 「未然防止」の取組

### 不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくりの推進

#### 【取組 1】(A 中学校)

夏季休業日明けのハートフルウィーク(教員による生徒との二者面談)を実施した。

#### [目的]

- ・生活面、友人関係、学習面に不安や心配事を相談できる場を用意することで、学校生活を安心して生活できるようにする。
- ・話しやすい大人を自ら選択して面談することで、相談できる大人を増やす。

#### [実施の流れ]

- ①事前アンケートを実施し、生徒が教員を指定する。  
→校長や副校長も指定することができる。
- ②生徒は1人10分ほどを目安に自分が指定した教員と、夏休みの思い出等の雑談や悩み事を話す機会とする。



#### 【取組 2】(A 中学校)

学年の枠を超えたきずなづくりのための生徒会活動の充実を図った。「生徒会主催のレクリエーション」を実施し、百人一首、フルーツバスケット、バレーボールなど、年に数回生徒会が様々な種目の企画・運営を行い、自由参加型レクリエーション大会を実施した。参加生徒はアンケートで募り、学年を超えたチームで楽しむ様子が見られる。また、生徒会によるボランティア活動を行い、ボランティアへの参加者を全校生徒から募り、服を難民に届けるなどのボランティア活動を行っている。同じ目標に向かい活動することで学年を超えたきずなづくりにつながっている。

#### 【取組 3】(B 中学校)

全教員が学校スタンダード(学校として組織的な取組をする・個に応じた指導・協働的な学びの充実)を基にした授業を展開し、学習のユニバーサルデザイン化を図った。また、教育活動において、生徒から相談があった場合には、教員が決めるのではなく、生徒自身に「課題は何か」、「どのように行動したら解決できるか」などを考えさせるとともに、生徒の状況に応じて決断させるなどして、自己決定力を育成する。

#### 【取組 4】(A 中学校)

特別支援教育コーディネーターから「特別な支援を要する生徒が授業に参加するための手だて」が共有され、次の3点を意識した授業を学ぶことができた。

- ①生徒が「できる」と思えること
- ②生徒が「できた」という達成感が得られること
- ③生徒が「いつ終わるのか?」の見通しを示すこと

## 多様な学びの場を確保する取組

### 〔「早期支援」及び「長期化への対応」の取組〕の推進

#### 支援会議（B中学校）

毎週金曜日実施に実施する校内支援委員会で生徒の情報共有し、支援策を検討した。生徒の状況把握（出欠席、友人関係、家庭環境など）や、学校の対応（面談、電話連絡、家庭訪問など）について確認し、情報共有及び支援策を検討した。事前に対象生徒の状況把握と情報収集をまとめることで協議を円滑に行った。

#### アウトリーチによる支援（C中学校）

担任及び家庭と子供の支援員と連携し、週1～2回程度定期的な家庭訪問を行った。訪問時に生徒と直接話し、1週間の様子などを聞き取る。学習課題や提出が必要な書類等の受け渡しを毎回行い、本人の希望に応じて登校を支援した。

#### 校内別室における支援（D中学校）

校内別室を利用する生徒同士の交流を通し、互いに認め合える人間関係づくりの支援を行った。学校へのWEB連絡システムを活用し、家庭で決めた目標を保護者から学校に送ってもらい、家庭と学校で目標を共有して生徒の目標達成に向けての支援を行っている。また、支援員が生徒と相談しながら、生徒一人一人の状況に応じて、学習内容を提案し、生徒が自分のペースで学ぶことができる学習を自己決定できる工夫を行っている。校内別室での学習支援がやられる場にならないよう留意しながら、生徒一人一人のペースを尊重して、支援を行っている。

#### デジタル機器を活用した支援（C中学校）

美術の時間において、校内別室の生徒が取り組めるよう模擬動画を配信している。生徒は動画を参考にしながら作業を進め、制作過程を教員に共有することで、個別に助言をもらいながら作業を進めている。



#### 関係機関との連携（D中学校）

学校で当該生徒・保護者と面談を行い、登校に向けた段階的なステップを提案し、実現可能な登校計画を立てている。

- ①配布物を取りに登校する。
- ②給食を食べに登校する。
- ③校内別室を利用し、学校にいる時間を増やしながら登校する。

## 成 果

校内別室における取組の選択肢が広がり、個に応じた支援につながった。

生活意識調査を実施することで、生徒の現状把握ができ、課題の可視化につながった。

## 課 題

校内別室利用生徒の教室復帰に向けた支援計画の作成。

支援を要する生徒に対するアセスメントの実施と支援の充実化。